

事業報告書

第60年度

(令和4年4月1日から令和5年3月31日)

1. 事業の概要

わが国は、生活環境の改善や医学の進歩にともない、急速に人口の高齢化が進み、令和3年簡易生命表によると、男性の平均寿命は81.47年（前年比△0.09年）、女性の平均寿命は87.57年（前年比△0.14年）と、前年よりもマイナスになっているにもかかわらず、世界でもトップクラスの長寿国となっている。このような高齢化の進展にともない、寝たきり者や認知症等の疾病が増加し、介護問題を含めて社会的な問題も生じている。

また、令和3年人口動態統計（確定数）によると、生活習慣に起因するとされる、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患による死亡者数は全死亡者数の48.7%を占めている。これらの疾患は、社会的・家庭的に重要な立場にある働き盛りの人に発症することが多く、生活習慣病の予防対策が重要性を増している。

このため、わが国においては老人保健法（昭和57年）の制定以降、4次にわたる計画に基づき壮年期から高齢期にいたる予防対策を推進し、その後も、健康増進や疾病予防に係る数値目標を定めた「21世紀における第二次国民健康づくり運動（健康日本21（第二次））」（平成25年～令和4年度）や、「健康増進法」の施行、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予防に着目した「特定健康診査・特定保健指導」の導入など、国民の生活習慣病予防への取り組みを強化している。

本会では、昭和38年の設立以来、特に病院・診療所が少ないために保健医療サービスを受けにくい農山村地域住民に対して、生活習慣病予防のための知識の普及を行うとともに、生活習慣病検診車や検診用機器の整備充実を図り、検診事業の促進と公衆衛生の向上に努めてきた。

本年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、一部活動の制限はあったが、特に次の活動を実施した。

(1) 生活習慣病予防に関する啓発活動

- ① 厚生労働省が行った「健康増進普及月間」等の啓発運動に協力した。
- ② 「健康日本21推進全国連絡協議会」の活動に協力し、健康日本21の推進に努めた。
- ③ 生活習慣病に関する知識の普及及び啓発を目的に「生活習慣病のしおり」を作成・配布した。

(2) 生活習慣病検診車の整備

生活習慣病の早期発見に寄与するため、(公財) J K AにC T検診車の補助を申請し決定した。

C T検診車の納期は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、令和5年度となる。